

第三者評価結果入力シート（母子生活支援施設）

種別	母子生活支援施設
----	----------

①第三者評価機関名

社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

SK2021210
継第4-7

③施設名等

名称：	白浜なぎさホーム
施設長氏名：	吉田 暢子
定員：	20 世帯
所在地(都道府県)：	和歌山県
所在地(市町村以下)：	西牟婁郡白浜町3148-38
T E L：	0739-42-4615
U R L：	http://nagisa-home.com/
【施設の概要】	
開設年月日	1970/9/1
経営法人・設置主体（法人名等）：	紀南地方児童福祉施設組合
職員数 常勤職員：	6 名
職員数 非常勤職員：	1 名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	5 名
有資格職員の名称（イ）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	1 名
有資格職員の名称（ウ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（エ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（オ）	
上記有資格職員の人数：	名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	定員20世帯 1661.79㎡ 居室数22室（ショートステイ室含）保育室・静養室・学習室
施設設備の概要（イ）設備等：	地域住民も利用できる避難タワー（屋上）
施設設備の概要（ウ）：	オール電化
施設設備の概要（エ）：	玄関オートロック、セキュリティシステム（緊急ボタン）完備

④理念・基本方針

<p>理念：母と子の生きる力を支えます</p> <p>基本方針：①母と子それぞれが抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にした合理的で計画的な一貫した専門的支援を行う。 ②母と子の課題を理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行う。 ③母と子が自己の意思で課題を解決できるように、個々の気持ちに寄り添った支援を行う。 ④必要な手続きを分かりやすく説明し、必要に応じて職員が関係機関等への同行及び代弁を行う。</p>
--

⑤施設の特徴的な取組

<p>○母親向け・子ども向けに「意見・相談カード」を作成し、相談しやすい雰囲気作りに努めて、利用者の意見表明の保障とともに前向きな生活意欲の喚起に努めている。</p> <p>○日ごろから職員全員が、利用者への声掛け・傾聴等の質の濃い関わりを心がけ、利用者の気持ち・意思に寄りそった支援を行っている。</p> <p>○幼児への取組として、降園後保育・補完保育・お迎え支援の実施を通して、保護者と連絡を密に共有し、健全な子育ての援助に繋げている。</p> <p>○備蓄（物品・食品）とともに避難タワーを設置し、災害時には地域住民の緊急避難場所としての機能を整えている。</p>
--

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2024/5/13	
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2024/10/24	
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和3年度（和暦）	

⑦総評

【特に評価が高い点】(1) 安心安全の提供：常勤6非常勤1の7人体制にあっても、福祉職の平均在籍が15年以上のベテラン職員による途切れのない良心的な見守りが、利用者の母子に施設内のみならず施設外（職場・学校・保育園等）での前向きな活動意欲を喚起し、また関係機関と連携した支援が、平穏な当たり前の日常生活の堅持に反映されている。

(2) 利用者ファースト：子育て・就労・衣食住・子どもの進路等から将来展望に至るまで、利用者の生活を尊重しながら寄り添い、365日24時間あらゆる場面に気を配り、声をかけ、健全な心身の確保に誘っている。

(3) 緊急一時保護：マニュアルが整備され、日直員・宿直員を含む全職員に周知が図られている。受入時に素早い対応ができるように、どの職員でも24時間受入できる体制が構築されている。また、すぐに生活できるように居室はもとより生活必需品を貸与できるように予め用意している。さらに精神的に疲弊している方に対しては、米・調味料等の食材やお弁当の提供を行う等温かみのある対応で、安心感を持って入居できる体制になっている。

【改善が求められる点】(1) 地域とのつながりは避難タワーのハード面だけでなく、保育所や学校との連携を通して、地域の子育てはじめひとり親・高齢者対応など設置主体が培ってきた多様な活動を通して、広く支援ノウハウや情報を地域団体や諸機関に提供する取組が望まれる。

(2) 母子生活支援施設の役割と機能について、次世代を担う学生・地域活動者への理解と協力を広げる取組として、利用者の諸事情により制約はある中での実習生等の積極的な受入体制の整備が望まれる。

(3) 被虐待児に対する支援に関する職員研修を、権利擁護の研修で実施しているが十分とは言えない。今後は必要に応じて外部講師を招く等、より専門性を高める取組を期待する。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

第三者評価を受審することで、施設運営・支援の見直す機会となっております。高い評価をいただいた分野については、職員の仕事へのモチベーションアップに繋がり、嬉しく思います。

また、改善が必要なことについては、改めて気づく機会を得ることができました。改善点につきましては、内容を再確認しながら今後の支援にいかせるように職員間で共有し改善に向けて取り組んでいきたいと考えます。

今後も母親と子どもに寄り添い丁寧な支援に心掛け、良質な支援が提供できるよう努めてまいりたいと思います。

⑨第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（母子生活支援施設）

共通評価基準（45項目） I 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
<p>① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、母親と子どもへの周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>施設の理念・基本方針は、全職員が共有するとともに、関係機関等にはホームページやパンフレットを介して理念・基本方針に基づく支援の内容を具体的に開示している。また、利用者の各居室にも常備するとともに、職員の定期的な居室訪問の面談の際に、支援・援助の共通事項として、相互理解を深めている取組は高く評価できる。</p>	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
<p>① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの数・母親と子ども像等、支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする母親と子どもに関するデータを収集するなど、施設(法人)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に支援のコスト分析や施設入所を必要とする母親と子どもの推移、利用率等の分析を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>全国・近畿の母子生活支援施設協議会の動向をはじめ、県・町の福祉計画の方向性を把握し、施設運営上の課題の分析とともにその対応に取り組んでいる。</p>	
<p>② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営環境や支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p>	

当施設にとどまらず母子生活支援施設の役割・使命、機能・利用状況について、今後、県内4つの母子生活支援施設が一丸となった、より「充実した支援の提供施設としてのあり方」の協働が期待される。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○

【コメント】

今年度改定された中長期計画に、経営状況分析について複数年にわたり監査報告書に指摘されている。「施設の利用率70%」（暫定定員解消）により、利用者へのさらなる質の高い支援の提供、年次計画の具体的な取組の可視化が期待される。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○

【コメント】

玄関のオートロックの設置や、入居者個々のニーズに対応する支援の向上と、ハード・ソフトに関わる積極的な取組が反映されている。一方、喫緊の課題である利用者増（暫定定員の解消）の課題について、昨年度の問い合わせ21件中入居4件のケース分析とともに、母子が地域で生活できる行政の援助体制の整備と協働した、「地域・施設共に母子にとってより安全で安心できる母子福祉の向上」への現場から具体的な活動の発信が期待される。

(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【コメント】

職員6人の体制で運営や支援について、日ごろから打ち合わせ時や支援現場での会話で、意思疎通・情報共有がなされ、利用者も随時意見を表出できるなど、現場では支障なくサービスの提供ができています。一方、単年度の施設の運営・機能について、組織としての取組を外部関係機関に周知する仕組みの整備が期待される。

②	7 事業計画は、母親と子どもに周知され、理解を促している。	a
---	-------------------------------	---

<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、母親と子どもに周知(配布、掲示、説明等)されている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や母親会等で説明している。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、母親と子どもがより理解しやすい工夫を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画については、母親と子どもの参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○

【コメント】

行事やハード面の整備、支援・援助等について、全入居者への視点とともに、母親と子ども一人ひとりの課題にも寄り添って、個別にもわかりやすく説明がなされている。各居室には「生活についての基本事項」が配置され、入居者のライフアシストに積極的に取り組んでいる。

4 支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

毎年、全職員が施設運営・支援分野について自己評価(意見交換・情報共有・課題への取組)を行っている。また、人権研修とセルフチェックを行い、日々自他の視点から「入居者へのより質の高い施設運営、養育支援の向上」に取り組んでいる。

② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

前項で表出した課題や入居者の好評を得た行事等について、母親や子どもの集会で情報共有するとともに、職員だけでなく課題によっては入居者と協働した積極的な取組が稼働している。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○

<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【コメント】

施設長の役割は、ホーム要覧・管理規程・設置主体の事務決裁規程に明記されている。また、施設長は全国・近畿の母子生活支援施設協議会への会合出席や、県・町の福祉分野の要職活動から得た情報を職員と共有し、より質の高い施設運営に反映させるべく意欲的に取り組んでいる。

② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

施設長は、社会的養護施設長研修会に参加するとともに、常に国・県・町の福祉施策動向に注視し、入居者の権利擁護・個人情報・利害関係者との関係等、運営・支援全般について質の高いコンプライアンスの推進に努めている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

① 12 支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○
(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	○

【コメント】

施設長は、社会的養護の動向・施設の機能・地域での役割・地域のニーズ等の把握に努めるとともに、入居者の入居中・退居後の安心・安全な地域内生活の維持のため、職員と協働した支援の質の向上に努めている。

② 13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【コメント】

設置主体である紀南地方児童福祉施設組合の事務局長として、経営改善や業務の実効性に向けて人事・財務等幅広く分析し、課題への具体的な取組計画を立てて取り組んでいる。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○
【コメント】		
設置主体の紀南地方児童福祉施設組合に人事基準は整備され、施設においては基幹的職員・個別対応職員の配置をはじめ、今後心理療法職員の採用を計画するなど、人材の充実にに向けた採用計画プランが示されている。		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
【コメント】		
白浜町に準じた人事基準を運用して、考課基準を示すとともに、その目的と効果について職員に周知している。施設が求める職員像を基調に、方針に基づいた人事管理が稼働している。		
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	

福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

【コメント】

職員6人の、平均在籍年数15年、平均年齢52歳の構成にあって、職員一人ひとりのプライベート状況や就労意欲・継続を尊重した就労環境の維持・改善の取組がなされている。一方、宿直シフトのない日勤の就業の現状とともに、将来、緊急保護や利用者・地域・関係機関等のニーズ、母子支援の役割・機能の多様化に応じて「宿直や夜勤シフト」にも対応できる体制の検討が期待される。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

実務上、現体制のもと直接支援現場に支障はなく、むしろ施設・入居者共に安定した生活の堅持がなされている。一方、職員一人ひとりの教育・育成について、「個々の目標設定・進捗確認・到達評価の面談」の管理職による面談の取組等、施設として「職員育成の年間計画の体制の策定と運用」が望まれる。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【コメント】

基本方針・中長期計画に示される「施設が職員に求める専門性や専門資格」に基づいて職員配置するとともに、彼らの育成について、内部研修計画をしっかりと策定し実施している。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【コメント】

長年実務現場で蓄積された経験と知識を基に、質の高い支援が入居者に提供されている。また、限られた少人数での支援シフトを工夫して、外部研修（宿泊研修含む）への参加を整えている。一方、母親への生活・就労・育児支援に加えて子どもへの支援（例えば性教育等）の向上に向けて、今後、児童養護施設での研修に参加するなど幅広い支援知識・スキルの獲得と、職員異動・新採職員へも対応できる施設研修体制の整備が望まれる。

(4) 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生等の支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	

【コメント】

母子生活支援施設の入居者の置かれた状況を鑑みながらも、次世代の福祉の福祉を担う学生の育成も大切な施設の役割・使命として、また、広く福祉施設への理解・関心を高めるための「視察やDAY研修受入れ」等の取組が望まれる。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者
評価結果

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の意味や役割を明確にするように努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【コメント】

施設の運営管理・支援体制は、ホームページやパンフレットはじめ、市・町の広報誌で情報公開がなされている。特に、事業・財務関係については文書化し、閲覧できるように整備している。第三者評価に関しては、前回の指摘事項に対する改善、更なる支援スキルの向上への積極的な取組は高く評価できる。

② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。

a

	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【コメント】

組合規約に、事務・財務・職務権限や責任等が明記され、職員一人ひとりの年度ごとの事務分掌により施設の役割が遂行されている。また、白浜町の会計管理者・監査委員による監査は毎月実施するとともに、外部会計事務所の監督・助言により、適正な施設運営が行われている。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 母親、子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの個別状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や母親と子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の母親と子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(母子生活支援施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○
【コメント】 日ごろから、職員・入居者共に地域住民や民生児童委員等と、挨拶をはじめ積極的に接点を持ち、顔なじみからの関係づくりに努めている。また、施設内の学習室（プレイルーム）を開放し、地域の大人・子どもの来園環境作りに努めている。また、母親には入居家庭の状況に応じ、児童デイサービスの活用など、近隣社会資源の活用も紹介している。		
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して母親と子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○
【コメント】 施設の特性上、入居者と直接接点を持つ制約のある中でも、ボランティアが施設内外の活動に積極的に関わりを持つ機会を整えている。特に、白浜町教育委員会・白浜町社会福祉協議会主催の「しら・はぐフェスティバル」は施設をあげて参加している。		
(2) 関係機関との連携が確保されている。		
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の母親と子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、母親と子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	○
【コメント】 白浜町要保護対策地域協議会会議、社会福祉協議会・教育関係機関・措置機関等と定期的に情報交換・共有、連携するとともに表出された課題に対しては、施設内でも職員全体で取り組む仕組みが稼働している。また、退居後についても、定期的な連絡・訪問を行い、ケースによっては居住地の自治体と連携するなど、密度の濃い在宅援助を実施している。		
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a

<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○
(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	○

【コメント】

施設長は、白浜町社会福祉協議会の役員、要保護対策地域協議会の代表者として、諸会議に参加し地域の児童はじめ障がい・老人等の福祉諸分野の動向を把握するとともに、母子生活支援施設が蓄積してきた母子支援のノウハウを提供し助言している。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

前項で把握した地域福祉ニーズへの対応について、社会福祉施設として、地域の置かれた状況、特に高齢化に伴う見守りへの参画等、身近で具体的な取組の検証が望まれる。一方、災害時には、施設屋上・避難タワーを地域に開放する一時避難所の役を担っており、地域住民にも周知されている。

Ⅲ 適切な支援の実施

1 母親と子ども本位の支援

(1) 母親と子どもを尊重する姿勢が明示されている。	第三者 評価結果	
①	28 母親と子どもを尊重した支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、母親と子どもを尊重した支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもを尊重した支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【コメント】

利用者を尊重した理念と基本方針を策定し、掲示等をもって常に職員の意識を喚起するとともに、共通理解の維持向上に努めている。日ごろの支援に関しては、冊子「ホームでの生活について」にわかりやすく詳細に明記し、入居者・職員共々に安心で安全な生活の実践のもと、入居者の前向きな「生きる意欲」の喚起に努めている。

②	29 母親と子どものプライバシー保護に配慮した支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○

- 一人ひとりの母親と子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、母親と子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。
- 母親と子どもにプライバシー保護に関する取組を周知している。

○
○

【コメント】

紀南地方児童福祉施設組合個人情報条例や施設のプライバシー保護マニュアルに基づき、日ごろからプライバシーに配慮した支援がおこなわれている。ハード面では、玄関をオートロックし、不審者侵入の危機感を緩和するとともに、居室はじめ下駄箱やメールボックスには施錠機能を施し、職員や事務所の仲介なく入居者が直接配達物等を受け取れるように整備している。

(2) 支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

- ① 30 母親と子どもに対して支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。
- 理念や基本方針、支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。
 - 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
 - 施設に入所予定の母親と子どもについては、個別に丁寧な説明を実施している。
 - 見学等の希望に対応している。
 - 母親と子どもに対する情報提供について、適宜見直しを実施している。

a
○
○
○
○
○

【コメント】

施設の概要や特性、理念や基本方針に施設の生活や支援の内容について、ホームページやパンフレット並びに「ホームの生活について」に詳しく記している。各家族の状況に応じて、個別にも積極的な説明対応を行い、利用者の自己決定のもと、安心できる施設生活のスタートを援助している。

- ② 31 支援の開始・過程において母親と子どもにわかりやすく説明している。
- 母親と子どもが自らの課題を可能な限り認識し、施設が行う支援について母親と子どもができるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。
 - 支援の開始・過程における支援の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の自己決定を尊重している。
 - 支援の開始・過程においては、母親と子どもの同意を得たうえでその内容を書面で残している。
 - 意思決定が困難な母親と子どもへの配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。

a
○
○
○
○

【コメント】

支援開始の面接時に、事前アンケートを行い、利用者の意向を踏まえた支援計画を作成している。日ごろから支援計画に基づいて適切な支援の向上と不適切な支援がないように、全職員が情報の収集と共有を図っている。重い課題を抱える母親や子どもへの配慮については基本支援のマニュアルを策定し、職員全員で母子に届く支援を心がけている。

- ③ 32 支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり支援の継続性に配慮した対応を行っている。
- 支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。
 - 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
 - 施設を退所した後も、施設として母親と子どもが相談できるように担当者や窓口を設置している。
 - 施設を退所した時に、母親と子どもに対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。

a
○
○
○
○

【コメント】

支援の変更や、措置変更の際に不利益が生じないよう利用者の意思を尊重しつつ、アセスメントシート等を活用して、利用者のニーズに寄り添う支援を行っている。退所後も、入居中同様ニーズに応じて訪問や同行支援を積極的に行い、利用者の社会自立をアシストしている。

(3) 母親と子どもの満足の向上に努めている。		第三者 評価結果
①	33 母親と子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもへの個別の相談面接や聴取等が、母親と子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員等が、母親と子どもの満足を把握する目的で、母親と子ども会等に出席している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、母親と子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

経験豊かな職員による支援体制のもと、実務上遜色なく稼働している。一方、これまでの取組（アンケート・居室訪問・面談・利用者会議等）からの利用者の意向・要望の把握・分析検討する仕組みを、施設として更なる支援の向上につなげる体制強化が望まれる。

(4) 母親と子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を母親と子どもに配布し説明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、母親と子どもが苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、母親と子どもに必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た母親と子どものプライバシーに配慮したうえで、公開している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

苦情解決の仕組みを策定し、わかりやすく記した文書で入居時に説明するとともに、掲示して入居者の意見表明権を確保している。また、記述のみならず、居室訪問時には入居者の状況に合わせて困りごとや不安等にじっくり耳を傾けるように、特に心掛けている。

②	35 母親と子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、母親と子どもに周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもに、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

職員は、全員が日ごろから入居者とコミュニケーションを積極的図り、入居者が話しやすい雰囲気づくりに努めている。また、施設には相談カード・意見箱を設置し、誰でも無記名で意見が発信できるように整備し、意見箱は1日に1回開錠し、入居者の意見に早急に職員全体で対応できる仕組みが稼働している。相談室は、相談内容が外に漏れないように防音カーテンを配するなど、プライバシー保護にも配慮が行き届いている。

③	36 母親と子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の支援の実施において、母親と子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	<input type="checkbox"/>

<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、母親と子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【コメント】

アンケートや居室訪問等を通じ、定期的に母子の意見を把握できる仕組みが稼働している。意見箱で把握した意見は、マニュアルに沿って対応し、事案によっては第三者委員の助言・指導を仰ぎながら入居者へ丁寧な対応を心がけている。

(5) 安心・安全な支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

① 37 安心・安全な支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	
<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

安全確保に関するマニュアルを作成し、職員に周知している。毎月安全点検を行い、危険個所の早期発見に努め、また、年1回職員による防犯訓練を行う等安全管理に関する取組を行っている。宿直員・日直員の配置、防犯カメラ・オートロックドア・警備保障会社による防犯対策等、母子が24時間安全で安心して生活できる環境を整備している。今後、さらに職員の『危険へのきづき』を促していくために、事故につながりかねない些細な事例の収集、要因分析と改善策、再発防止策の検討等が望まれる。

② 38 感染症の予防や発生時における母親と子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○

【コメント】

安全管理対策員が中心になり、感染症予防や発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知し、見直しもを行っている。母子に対しても注意喚起の文書を掲示したり、個別に声かけ等を行い感染予防に努めている。特に、コロナ感染予防対策として消毒、手洗い、マスクの着用とともに、ワンルームタイプの居室の使用を取りやめる等の対応策がとられている。

③ 39 災害時における母親と子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a
<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○

<input type="checkbox"/> 母親と子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○
【コメント】	
災害対策推進員が中心となり、防災マニュアルを作成し、職員や入居者に周知が図られている。毎月1回様々な災害を想定し、抜き打ちで避難訓練を実施し、年1回は消防署の協力を得て総合防災訓練を実施している。入所者全員にライフジャケットを配布すると共に、必要な防災グッズが整備されている。また、建物屋上は近隣の避難場所に指定されており、施設と近隣住民を対象に食料等の備蓄品を整備している。	

2 支援の質の確保

(1) 支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 支援について標準的な実施方法が文書化され支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、母親と子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	○
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	○
【コメント】		
理念・運営指針、白浜なぎさホームの心得を整備し、さらに母子の状況を踏まえた標準的な支援方針を文書化し、全職員に周知している。また、支援の手引きを詳細に作成し、いつでも職員が見れて活用できる状態になっている。支援方法等について、ケース会議等で日々話し合いがなされ、支援計画をもとに支援の振り返りや見直し等を定期的に行い、権利擁護に配慮した支援に取り組んでいる。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や母親と子どもからの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	○
【コメント】		
支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期や、その方法を記載した文書（支援の手引き・自立支援計画マニュアル等）が整備され、自立支援計画は、年2回見直しを実施している。見直しにあたり、アンケートや面談等により表出された母子の意見・要望を検討し、自立支援計画等に反映される仕組みになっている。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、母親と子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、母親と子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な支援が行われている。	○
【コメント】		

母親と子どもに対してアンケート調査を実施し、母子の意向を確認するとともに面接を行い、状況を適切に把握し、ニーズや支援内容を明らかにして自立支援計画を策定している。策定するにあたっては、福祉事務所に世帯の状況と支援内容を報告し、また、福祉事務所と母親との面談時には面談結果と意見書をもらう等情報の共有がなされている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、母親と子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

職員全員の参画によって策定された自立支援計画は、日頃の支援経過や家族状況の変動等を検証し、定期的に母と共に振り返りを行い、適切に評価・見直しが行われている。

(3) 支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 母親と子どもに関する支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

母子の基本情報やケース記録・自立支援計画は、電子媒体で記録され各職員は常時閲覧できる状態になっている。また日々の記録を各日誌にファイリングし、すぐに確認することができ、毎日の申し送り等で情報の共有に努め、母と子どもの状態の変化や支援内容が十分でない状況等に対して速やかに対応できる体制になっている。

②	45 母親と子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、母親と子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。	○

【コメント】

紀南地方児童福祉施設組合個人情報保護規定に基づき、記録の管理・保存・廃棄等を適切に行っている。電子媒体での記録の管理はパスワード設定を行い、書面の場合は保存ロッカーを施錠する等の対応をとっている。個人情報の取扱いについては、保護者等に説明し同意を得ている。職員はプライバシー保護マニュアルに基づき、記録の取扱いについて理解するとともに、日頃から細心の注意をはらっている。

内容評価基準（25項目）

A-1 母親と子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 母親と子どもの権利擁護	第三者 評価結果
<p>① A1 母親と子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じて、関係機関等と連携を図り対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 母親と子どもの思想・信教の自由を保障している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【コメント】	
<p>権利擁護については、基本姿勢を明示し各種規定やマニュアルが整備され、職員間で共通の理解を持って取り組んでいる。取組については、日々の話し合いやケース会議等で検討され、母子に寄り添った支援を実施している。不適切な関わりを防止する為、セルフチェックを実施し、早期発見・早期対応に努めている。施設外の研修に積極的に参加し、また施設内研修の実施等により権利擁護の意識と理解を高め、権利侵害を発生させない組織づくりを行っている。</p>	
(2) 権利侵害への対応	
<p>① A2 いかなる場合においても、職員等による暴力や脅かし、人格的辱め、心理的虐待、セクシャルハラスメントなどの不適切なかかわりが起こらないよう権利侵害を防止している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりがあった場合を想定し、施設長が職員と利用者の双方に事実確認や原因の分析等を行うことや「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの起こりやすい状況や場面について、具体的な例を示しながら、研修や話し合いを行い、職員による不適切なかかわりを行わないための支援技術を習得させている。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの禁止を職員等に徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことを確認している。</p> <p><input type="checkbox"/> 職員からの暴力や言葉による脅かしなどの、不適切なかかわりが発生した場合に対応するためのマニュアル等を整備し、規程に基づいて厳正に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切なかかわりや暴力を見たり聞いたりしたら、管理者等に報告することを義務付けている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
【コメント】	
<p>権利擁護規定・接遇マニュアル等により、母子への不適切な関わりがおこらないよう権利侵害を防止している。マニュアルをもとに職員は日常的に振り返りをおこない、意識して支援を行うと共に、接遇研修や会議等で確認や点検・改善を行っている。懲戒審査規定に基づき厳正に処分を行う仕組みが整備されている。</p>	
<p>② A3 いかなる場合においても、母親や子どもが、暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切な行為を行わないよう徹底している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止について、具体的な例を示して、母親と子どもに周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切な行為に迅速に対応できるように、母親と子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。</p> <p><input type="checkbox"/> 不適切な行為の防止を徹底するため、日常的に会議等で取り上げ、行われていないことの確認や職員体制の点検と改善を行っている。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>

不適切な行為を伴わない人のかかわりについて、母親や子どもに伝え、良好な人間関係の構築を図っている。

○

【コメント】

権利擁護規定に基づき、不適切な行為を確認した時は、迅速に対応できる仕組みが整えられている。職員は日頃から母子との対話に努め、母子からの訴えやサインを見逃さないように心掛け、良好な人間関係を構築することにより、不適切な行為の防止・早期発見に努めている。ポスター（体罰に寄らない子育て・子ども権利条約等）の掲示により母子への周知を図り、子どもには、子ども会等で具体的な例を示したり、絵本等を活用してわかりやすく説明している。

③ A4 子どもに対する暴力や脅かし、人格を辱めるような不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。

a

不適切なかかわりに迅速に対応できるように、子どもからの訴えやサインを見逃さないよう留意している。

○

子どもが自分自身を守るための知識・具体的方法について学習する機会を設けている。

○

不適切なかかわりを伴わない子育てについて母親に伝え、良好な親子関係の構築を図っている。

○

常に親子関係の把握に努め、適切な助言や支援を行っている。

○

【コメント】

職員は外出時・帰宅時等、母子に対して日常的な声かけを心掛け、子どもからの訴えやサインを見逃さないように心掛け、母子関係の把握に努めている。母子関係の衝突から不適切な言動を確認した時は、職員が介入し、良好な関係を保つことができるようにサポートしている。職員も、日々の話し合いや会議等で検討し、子どもへの不適切なかかわりの防止について対策が講じられている。子どもには、子ども会等で自分自身を守るための知識・方法等について、具体的な例を示したり、絵本等を活用してわかりやすく説明している。

(3) 母親と子どもの意向や主体性の配慮

① A5 母親や子どもが、自分たちの生活全般について自主的に考える活動（施設内の自治活動等）を推進し、施設における生活改善に向けて積極的に取り組んでいる。

b

子ども自身が自分たちの生活全般について、自主的・主体的な取組ができるような活動（施設内の自治会活動等）を母親の理解のもとで実施している。

○

子どもが問題や課題について主体的に検討し、その上で取組、実行、評価するといった内容を含んだ活動を母親の理解と協力のもと実施している。

○

活動を通して、子どもの自己表現力、自律性、責任感などが育つよう必要な支援をしている。

○

母親が自らの権利を学び、自主的に自分の生活を改善していく力を養えるよう支援している。

○

母親の自治会活動等を通して、母親の自己表現力、自律性、責任感などに対する支援を行っている。

○

【コメント】

年度初めに自治会役員を決める等をおこない、母親が意見を表明できる場を設けているが、感染症予防対策として活動が制限される場合があり十分な活動を行っているとは言えない。個別に意向を確認しながら、生活改善の支援を行っているが、今後は、母親と子どもが自主的に自分の生活を改善していく力を養う事ができるような主体的な活動を行い、その取組を職員が支援していく事が望まれる。

(4) 主体性を尊重した日常生活

① A6 日常生活への支援は、母親や子どもの主体性を尊重して行っている。

a

母親や子どもの自尊心や強みを大切にされた支援を行い、自己肯定感が回復し高まるような支援を行っている。

○

母親と子どもとに対してストレングスの視点に基づいて、エンパワメントしていく支援を行っている。

○

常に母親と子どもの主体性を尊重した支援を通して、その人が力を発揮できるよう支援を行っている。

○

【コメント】

職員は、日常会話の中から母子の話を傾聴し、本人の自尊心や強みを大切にし、力を発揮できたり、自己肯定感を高められるような支援に努めている。また、自立に向けて必要な情報を提供し、自己決定できるように助言やサポートをおこなっている。母子の主体性を尊重しながら、生活する能力を引き出し、それを支え、将来の希望に繋げる事ができるような寄り添った支援を行っている。

② A7 行事などのプログラムは、母親や子どもが参画しやすいように工夫し、計画・実施している。

a

<input type="checkbox"/> 母親や子どもが施設での生活を楽しめるような企画を用意している。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの主体的な参画を前提とした行事・プログラムを用意している。	○
<input type="checkbox"/> 母親向けのプログラムでは、母親が安心して参加し楽しめるように、保育などのサポートを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親や子どもの状況を考慮し、参加しやすいように内容・時間等を工夫している。	○
<input type="checkbox"/> 行事等の実施後に、評価を行い次回の実施につなげている。	○

【コメント】

感染対策の為、密にならないように工夫し、母の日の贈り物や七夕の飾りつけ等の製作を行っている。行事計画に当たっては母子それぞれの意見をくみ取るように配慮し、実施後にはアンケート調査を経て、結果をもとに職員間で話し合いを持ちながら振り返り・評価を行い、次回の行事開催に繋げている。今後は母子が楽しめるようにお弁当を持参しての親子遠足やハロウィンパーティ、クリスマスのお楽しみ会等の行事を計画している。

(5) 支援の継続性とアフターケア

① A8 母親と子どもが安定した生活を送ることができるよう、退所後の支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 退所後の支援が効果的に行われるよう、退所後の支援計画を作成している。	○
<input type="checkbox"/> 退所した地域で安定して暮らすために、必要に応じて退所先の行政機関をはじめ、多様な地域の関係機関や団体とネットワークを形成し、母親と子どもが適切な支援が受けられるようにしている。	○
<input type="checkbox"/> 退所後も電話や来所によって施設に相談できることを母親と子どもに説明し、生活や子育て等の相談や施設機能を活用した(学童保育・学習支援・施設行事への招待等)支援を提供している。	○
<input type="checkbox"/> 退所後の生活が安定していることを確認するための往訪や架電等の取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 必要に応じて退所先に往訪し、介助や同行・代行等の支援を行っている。	○

【コメント】

退所の際は、本人と面談を行い、退所後の支援計画を作成のうえ、母子が地域の中で安心して生活できるように支援している。意向を確認しながら、家庭訪問を行い、必要に応じて退所先自治体との連携や民生委員への引継ぎ・病院への同行・医師との連携・書類記入のサポート等を実施している。

A-2 支援の質の確保

(1) 支援の基本	第三者 評価結果
① A9 母親と子どもそれぞれの個別の課題に対応して、専門的支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 母親と子どもがそれぞれ抱える個別の課題に対して、目的や目標を明確にし計画的で一貫した専門的支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもの課題を正しく理解し、親子・家庭のあり方を重視した支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 母親と子どもが、自己の意思で課題を解決できるように個々の気持ちに寄り添った支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 資料等を使いながら、必要な手続きをわかりやすく説明し、必要に応じて職員が機関等への同行及び代弁を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 専門的な支援を行うために、その支援に必要な資格や経験等を考慮した職員を配置し、職員間で連携・協議を行っている。	○

【コメント】

母子それぞれに抱える課題をアセスメントにより明らかにし、それぞれのニーズに応じた支援を計画的に行っている。職員は母子の意思で課題を解決できるように気持ちに寄り添った支援を心掛けている。母親と小学生以上の子どもにはアンケートに記入してもらい、本人の課題や目標・今後の支援についての話し合いを行い、説明と同意・自己決定等に配慮し計画を立て、支援を行っている。また、支援内容については、職員間で共有し、連携・協議をおこない、必要に応じて絵や図を取り入れた資料を作成したり、関係機関等への同行支援を行っている。

(2) 入所初期の支援

①	A10 入所に当たり、母親と子どもそれぞれのアセスメントに基づき、生活課題・ニーズを把握し、生活や精神的な安定に向けた支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 入所直後は心理的に不安になりやすいため、信頼関係の構築に心がけ、心の安定に向けた相談支援に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親と子どもが安心して施設を利用し、課題の解決に向かえるように、関係機関等と連携して情報提供に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが保育所・学校に速やかに入所・通学できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、生活用具・家財道具等の貸し出しを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 居室は、母親と子どもが生活するために必要な十分なスペースが確保され、プライバシーに配慮したものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 身体に障害のある母親や子どもに対しても、安全に生活ができるように配慮している。	○

【コメント】

入所直後は、新しい生活への不安や戸惑いが大きい為、居室への訪問回数を多くする等、母子へのきめ細かい声かけを行い、気持ちに寄り添いながら信頼関係を築いている。また、母子の同意を得て関係機関との連携を密にとり、必要に応じて手続きや同行支援・送迎支援等を行っている。生活に必要な家電等の貸出を行い、居室の環境を整え、様々な情報提供やニーズに応じた支援等、ハード・ソフトの両面からのアプローチが行われ、安心・安全に施設での生活がスタートできるように支援している。

(3) 母親への日常生活支援

①	A11 母親が、安定した家庭生活を営むために必要な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 生活経験に乏しい母親には、職員と共に行うことで経験を補う等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 心やからだの健康に不安を持つ母親には、相談に応じたり、医療機関への受診を促したりするとともに、栄養管理等の食生活への支援を行うなど、ニーズに応じた健康管理のための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、衣服の清潔保持や入浴など、気持ちよく暮らすために必要な衛生面への支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 経済的に安定した生活を送るために、必要に応じて家計の管理、将来に向けた貯蓄等の相談や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 支援の必要性やニーズに応じて、家事・育児等、日常生活全般について、代行や介助等の支援を行っている。	○

【コメント】

母親の生育歴・生活歴・生活スキルを踏まえ、本人と相談しながら基本的な生活習慣の維持・獲得のための生活全般の支援や育児支援・家計管理（貯蓄等の相談等）・医療機関等への送迎・同行支援等を行っている。衣類の状態や入浴について気を配り、母親の就労や病気等で家事や子育てが困難な場合も、職員が養育や家事の支援を行い、母親と子どもの不安を取り除いていくような取組を行っている。

②	A12 母親の子育てのニーズに対応するとともに、子どもとの適切なかわりができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の育児に関する不安や悩み等の発見に努め、その軽減に向けた相談や助言、介助等を行うとともに、必要に応じて保育の提供や保育所へつなぐ等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親の状況に応じ、子どもの保育所・学校等への送迎の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が子どもを客観的に理解できるように、発達段階や発達課題について示し、適切な子育てやかかわりについてわかりやすく説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 虐待や不適切なかわりを発見した時は職員が介入し、必要に応じて専門機関との連携を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもが通う保育所や学校と連携している。	○

【コメント】

職員は日頃から母親へのきめ細かな声かけを行っており、状況把握しながら子育てや子どもへの関わりについて、わかりやすく説明するように努めている。また、必要に応じて学校や保育所、専門機関との連携・情報共有を図ったり、子どもの保育所や病院への送迎支援・家事支援・降園後保育・補完保育等を行っている。子どもに対して不適切な関わりが見られる場合は、職員が介入し、状況に応じて児童相談所等の関係機関との連携を行っている。

③	A13 母親が安定した対人関係を築くための支援を行っている。	b
---	--------------------------------	---

<input type="checkbox"/> 母親が職員とつながっていることを実感できるよう、様々な場面で気軽に声をかけたり、相談に応じるなどの取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設を自分の居場所として感じられるように、母親どうしが集うための機会や場を設け、交流を促すなどなど、関係づくりのための支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 対人関係がうまくできない母親には、母親のペースに合わせた関係性の構築に配慮を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 社会との関係をとることの難しさから対人関係にストレスを生じている場合は、そのストレスの軽減が図られるよう、心理療法を行ったり相談に応じたりしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設内の他の母親や子どもとの間でトラブルが生じたときに、その関係性を修復もしくは改善するための支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

母親と職員が繋がっている事を実感できるように常に見守り、外出時や帰宅時等には、温かみのある声かけを行って話しやすい雰囲気をつくっている。対人関係がうまくできない母親には、本人のペースに合わせて話を聞いたり、相談に応じる等の配慮がなされている。カウンセリングが必要な場合は、必要に応じて職員が同行支援を行っている。また、定期的に訪問する臨床心理士のアドバイスも受けられる体制になっている。

(4) 子どもへの支援

①	A14 健やかな子どもの育ちを保障するために、養育・保育に関する支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの成長段階、発達段階に応じた養育支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 放課後の子どもの生活の安定や活動を保障し、活動場所、プログラム等を用意するとともに、日常生活上必要な知識や技術の伝達、遊びや行事等を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> DVを目撃した子どもを含め、被虐待児等や発達障害を含む様々な障害等の特別な配慮が必要な子どもに対しては、必要に応じて個別に対応し、子どもの状況に応じた支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 母親のニーズや状況に応じて、施設内の保育支援や保育所への送迎、通院の付き添いなどの支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設内における養育・保育に関する記録を整備し、支援に役立てている。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員は、子どもとしっかりと向き合い、じっくり話を聞き、共感する姿勢を大切にしている。子どもの成長・発達段階に応じた養育支援を行い、一人ひとりに寄り添った関わりを心掛けている。関係機関と連携しながら子どもの状況に応じた支援を実施できるように努めている。母親の状況やニーズに応じて病院の付き添いや保育所等への送迎を行っている。

②	A15 子どもが自立に必要な力を身につけるために、学習や進路、悩み等への相談支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 落ち着いた学習に取り組める環境を整え、年齢に応じた適切な学習支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学習の習慣を身につけるとともに、学習への動機づけを図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進学や就職への支援について、母親と子ども双方の意向をくみ取り、学校と連携して情報提供を行いながら、具体的な目標を定めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学費の負担軽減のため、各種の奨学金や授業料の減免制度等の活用への支援を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学習指導のために学習ボランティア等の協力を得ている。	
	<input type="checkbox"/> 子ども一人一人の個別性を重視した相談・支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

帰宅後の子どもが楽しく安全に過ごせ、落ち着いた学習できるように環境を整え、個別の状況を踏まえながら遊びの見守りや学習支援・降園後保育等に努めている。職員は、子どもと向き合い、じっくり話を聞き、本人の気持ちを大切にしながら将来を具体的に想像できるような声かけを行っている。母親と子どもの意向をくみ取り、学校や医療機関と連携しながら進学や就職の相談支援を行っている。学費等に係る各種制度の活用等について、情報提供を行い申請に繋げている。

③	A16 子どもに安らぎと心地よさを与えられるおとなのかかわりや、子どもどうしのつきあいに配慮して、人との関係づくりについて支援している。	b
---	--	---

<input type="checkbox"/> 母親以外のおとなにも受け入れられたり、甘えられたりする経験を増やし、おとなとの信頼関係が構築できるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> ボランティアや実習生など、様々なおとなとの出会いの機会を設け、多様な価値観、生き方への理解をすすめている。	○
<input type="checkbox"/> 悪意や暴力のないおとなモデルを提供することで、おとなに信頼感を持てるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> 自分の気持ちをことばで適切に表現し相手に伝えることについて、日常生活の中でその方法を意識的に伝え、その能力が向上するよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> 専門的なプログラムに基づいたグループワークを積極的に取り入れている。	

【コメント】

子どもの帰宅時や降園後保育等で職員と触れ合ったりすることで、安心感や心地良さを感じ、大人との信頼関係が構築できるように支援している。子どもとのコミュニケーションを大切にし、子ども自身が自分の気持ちを話せるような雰囲気づくりを心掛けている。また放課後デイ等、様々な大人と出会う機会をつくっている。今後はコミュニケーション能力を上げていけるようなグループワークを積極的に取り入れ、子ども同士の育ちあう力を活用していけるような取組が望まれる。

④ A17 子どもの年齢・発達段階に応じて、性についての正しい知識を得る機会を設け、思いやりの心を育む支援を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に正確な知識を持って応えている。	○
<input type="checkbox"/> 職員間で性教育に関する知識や、性についてのあり方などの学習会を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 年齢、発達段階に応じて、性についての正しい知識、関心が持てるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/> 年齢に応じた性教育の計画があり、正しい性知識を得る機会を設けている。	
<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性教育のあり方について学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】

性教育についての目標や年齢に応じた計画等を立案し、絵本等の教材を用意し必要時に活用する等の取組を行っている。また、子どもに疑問や不安が生じた時は、本人の気持ちに寄り添いながら応えるように心掛けている。今後は、必要に応じて外部講師を招く等をして、年齢に応じた性に関する正しい知識を得ることが出来る取組が望まれる。

(5) DV被害からの回避・回復

① A18 母親と子どもの緊急利用に適切に対応する体制を整備している。	a
<input type="checkbox"/> 緊急時に備えて、夜間でも対応できる体制を構築している。	○
<input type="checkbox"/> 24時間の受け入れや広域利用など、広く母親と子どもの緊急利用を受け入れている。	○
<input type="checkbox"/> 役割分担と責任の所在を明確にし、配偶者暴力相談支援センター・警察署・福祉事務所等との連絡調整体制を整えている。	○
<input type="checkbox"/> 緊急時対応マニュアルを作成・整備している。	○
<input type="checkbox"/> 緊急利用のための生活用品等を予め用意している。	○

【コメント】

緊急受け入れに関するマニュアルを整備し、日直員、宿直員を含む全職員で周知されている。受け入れ時に素早い対応ができるように、どの職員でも24時間受け入れできる体制になっている。役割分担と責任の所在を明確にすると共に、関係機関との連絡調整体制を整えている。また、すぐに生活できるように居室はもとより生活必需品を貸与できるように予め用意している。さらに精神的に疲弊している利用者に対しては、米・調味料等の食材やお弁当の提供を行う等温かみのある対応で、安心感を持って入居できる体制になっている。

② A19 母親と子どもの安全確保のために、DV防止法に基づく保護命令や支援措置が必要な場合は、適切な情報提供と支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 保護命令制度や支援措置・DV相談証明の活用について、情報提供を行うとともに、必要に応じて法的手続きのための同行等の支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 弁護士や法テラスの紹介や調停・裁判などへの同行等、さらに必要に応じて代弁等の支援を行っている。	○

DV加害者に居所が知れ、危険が及ぶ可能性がある場合には、母親と子どもの意向を確認した上で、速やかに関係機関と連携し、保護命令の手続きや他の施設への転居等の支援を行っている。

【コメント】

DV防止法に基づく保護命令や、支援措置・調停や裁判等については、必要に応じて情報提供を行い、母親に十分説明のうえ同意を得てから、法的手段・同行・代弁支援等を行っている。危険が及ぶ可能性がある場合は、母親と子どもの意向を確認の上、関係機関と連携し、転居の支援を行っている。母子の精神的フォローに努めながら、法律の専門家等と協働した支援体制を構築し、母子が望む安全で安心できる生活実現に向けて支援している。

③

A20 心理的ケア等を実施し、DVの影響からの回復を支援している。

a

DVについての正しい情報と知識を提供し、DV被害者の理解を促し、自己肯定感を回復するための支援を行っている。

DVから脱出することができたことを評価し、安心し安定した生活と幸せな未来について、職員と一緒に考え支援することを伝えている。

心理療法を活用し、医師やカウンセラーと情報交換を行いながら、より適切な支援を行っている。

必要に応じて、自助グループや外部の支援団体等の紹介を行っている。

【コメント】

DVから逃れてきた母親には、まず自らの意思で暴力を拒否し逃げられたことを評価し、今までの行動については、共感と肯定をしながら支援するよう心掛けている。また、職員が母親と一緒に考えながら支援していく事を伝え、自信・自尊心・自己肯定感を回復していける心理的なケアを実施し支援している。必要に応じて、カウンセリングを勧めたり医療機関につなぐ支援を行っている。

(6) 子どもの虐待状況への対応

①

A21 被虐待児に対しては虐待に関する専門性を持ってかわり、虐待体験からの回復を支援している。

b

暴力によらないコミュニケーションを用いるおとなのモデルを職員が示している。

子どもと個別に関わる機会を作り、職員に自分の思いや気持ちを話せる時間を作っている。

子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えることや、感情表現を大切にすることで、自己肯定感や自尊心の形成に向けた支援を行っている。

医療機関や児童相談所などの関係機関と必要な情報の交換を行いながら、より適切な支援を行っている。

心理療法担当職員によるカウンセリング等の専門的ケアを実施している。

被虐待児に対する支援の専門性を高めるための職員研修等を行っている。

【コメント】

子どもと個別に関わる機会を作り、自分の思いや気持ちをゆっくり話してもらえよう配慮している。子どもが自己肯定感を高められるように、気持ちに寄り添いながら信頼関係を築くことに努め、暴力によらないコミュニケーションを用いる大人のモデルを職員が示すように努めている。今後は、心理担当職員の配置と、必要に応じて外部講師を招いて職員研修を実施する等、被虐待児に対する支援の専門性を高めていくような取組が望まれる。

(7) 家族関係への支援

①

A22 母親や子どもの家族関係の悩みや不安に対する相談・支援を行っている。

a

母親の家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。

子どもの家族関係の悩みや不安を受け止め、相談に応じている。

家族の中に感情の行き違いや意見の相違がある場合、適切に介入し調整を行っている。

必要に応じて、他の親族との関係調整を行っている。

【コメント】

母子の悩みや不安をじっくり聞く機会を持ち、気持ちに寄り添いながら関係調整を行っている。母子の感情の行き違いや意見の相違がある場合も、それぞれの関係を尊重して相談に応じ、適切な介入・調整が図られている。また、必要に応じ、他の親族との関係調整も行っている。

(8) 特別な配慮が必要な母親、子どもへの支援

①	A23 障害や精神疾患、その他の配慮が必要な母親と子どもに対する支援を適切に行い、必要に応じて関係機関と連携している。	a
	<input type="checkbox"/> 社会資源の積極的な活用をするための支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公的機関や就労先、保育所や学校等と連携した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 精神疾患があり、心身状況に特別な配慮が必要な場合、同意を得て主治医との連携のもと、通院同行、服薬管理等の療養に関する支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害や精神疾患がある場合や外国人の母親や子どもへは、必要に応じて公的機関、就労先への各種手続きの支援を行ったり、保育所、学校等、他機関と連携し情報やコミュニケーション確保の支援を行っている。	○

【コメント】

障がいや精神疾患、その他配慮が必要な場合は、状況に応じて様々な社会資源を活用できるように支援している。また、関係機関と連携を図り、本人の意思を確認しながら通院同行等を行っている。放課後デイやヘルパー・病児保育の利用等、それぞれの状況に応じて適切な情報提供を行い、サービスの利用に繋げている。

(9) 就労支援

①	A24 母親の職業能力開発や就労支援を適切に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 母親の心身の状況や能力・適性・経験・希望に配慮した支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 資格取得や能力開発のための情報提供や支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 公共職業安定所以外にも、パートバンクや母子家庭等就業・自立支援センター等、様々な機関との連携や調整、必要に応じて、同行や職場開拓等の支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が安心して就労できるように補完保育(残業や休日出勤時の保育等)、病後児保育、学童保育などを行っている。	○

【コメント】

母親の心身の状況や本人の意向に配慮し、ハローワークや関係機関と連携を図りながら、必要に応じ同行等適切な就労支援を行っている。また、能力開発や資格取得の為の情報提供を行い、相談があった場合は個別に支援している。保育園が休園の場合やならし保育期間中に、母親が勤務時間を調整することなく就労できるよう、補完保育を実施している。また、入所時に所持金がない家庭の場合、本人の意向を確認しながら企業に連絡・調整を行い、就労を開始し、収入が得られるような支援を行っている。

②	A25 就労継続が困難な母親への支援を行い、必要に応じて職場等との関係調整を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 職場環境、人間関係に関する相談や助言など、個々に対応した幅広い支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 母親が望む場合、就労継続のために職場との関係調整を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害がある場合や外国人の母親の場合、その心身等の状態や意向に配慮しながら、就労の継続に向けての支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 就労継続が困難な母親を積極的に受け入れている。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて福祉的就労の活用を図っている。	○

【コメント】

職場環境や人間関係に不安を持つ母親には、本人の思いを傾聴し、励ましや相談・助言等を適切に行い手厚い支援を行っている。本人の心身の状況や意向に配慮しながら、医療機関・相談機関の支援員等と連携し、必要に応じて福祉的就労や就労継続の関係調整を行っている。また、介護施設やホテル等の企業に就労支援に協力してもらい、福祉作業所から一般就労へ移行した実績がある。